

ver.2.0 (2026.1)

ギタリスト目線で学ぶ音楽理論

ざっくり

コード理論のお勉強 vol.1

～プロギタリストの耳コピー術を学ぶ～

はじめに

「音楽理論知らないけど曲演奏出来るよ？」 「耳コピ必要？楽譜見ればいいんじゃない？」
はい、何も問題ございません。。それでも耳コピ推奨、音楽理論を紹介、解説したい！
なぜなのか、それは

耳コピには音楽の楽しさが詰まっていて音楽理論は耳コピの近道になる！

気になった曲を耳コピしてサクッと楽しんだり、
ギターが入っていない曲を弾いてみたり、
歌メロをギターで弾いてみたり、
楽譜が存在しない曲を弾いてみたり、
その場で耳コピしてセッションしたり、、、

いかがでしょう。最幸じゃないですか？？

これはほんの一例ですが、耳コピができればギターでより自由に”遊べます”！
そしてそんな耳コピの後押しをしてくれるのが、“音楽理論”です！

1度で理解できる人はほとんどいません。何度か挫折すると思います。最早してください笑
しかし、その先には楽しいギター沼が待っています！ゆっくりゆっくり、そしてゆっくり、音楽理論 始めていきましょう！

目次

- ・ 全音・半音、度数
- ・ スケール
- ・ ダイアトニックコード

(・ ざっくり耳コピ手順)

ぜんおん はんおん どうすう

全音・半音・度数

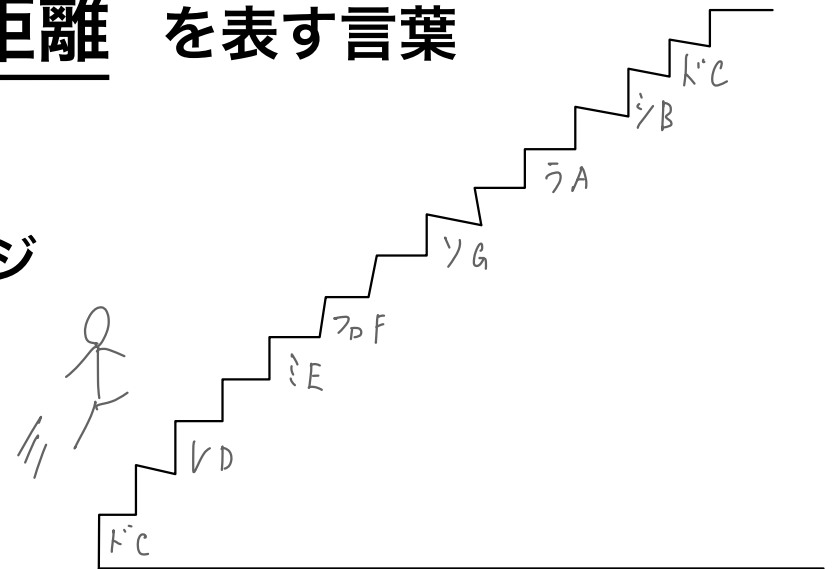
スケールやコード理論に必須知識！

- ・ 全音、半音
 - ・ 度数(○度)
- とは 音と音の 距離 を表す言葉

音の階段、1段 2段～みたいなイメージ

→ 1段で半音

→ 2段で全音



全音・半音と、1～8度を見てみましょう！

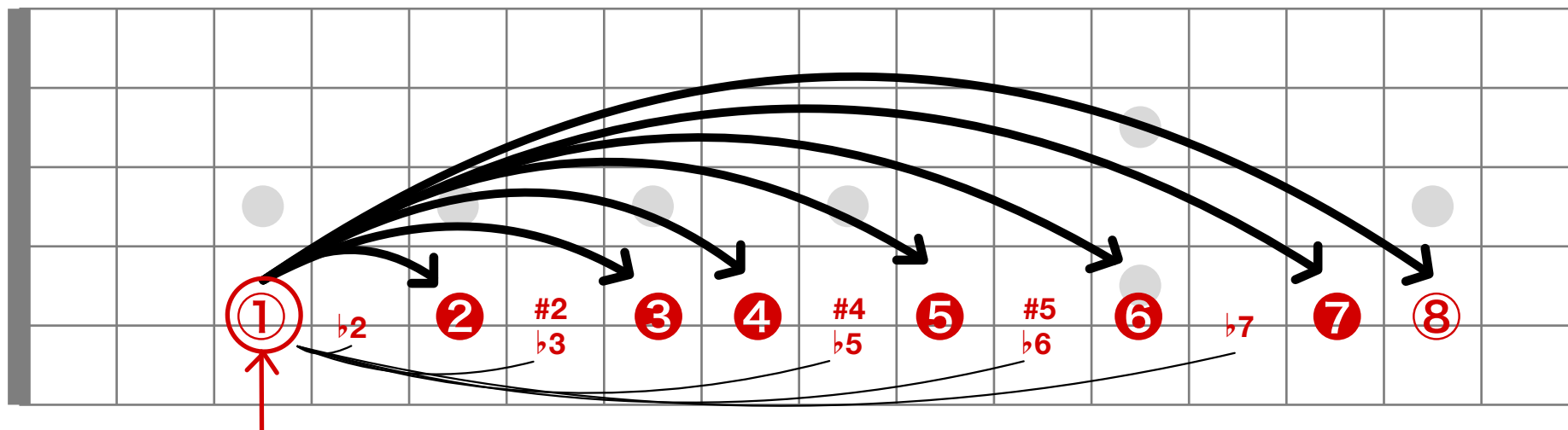
フレット1個分の距離を

半音



フレット2個分の距離を

全音



ここを基準にした時の度数を数字①～⑧で表してます

♭ は半音低く
は半音高くする記号

※8度は1オクターブとも言います

全音と2度は同じ(距離)です

全音+全音で 3度

全音+全音+半音で 4度 (3度+半音)

のような感じで数えます

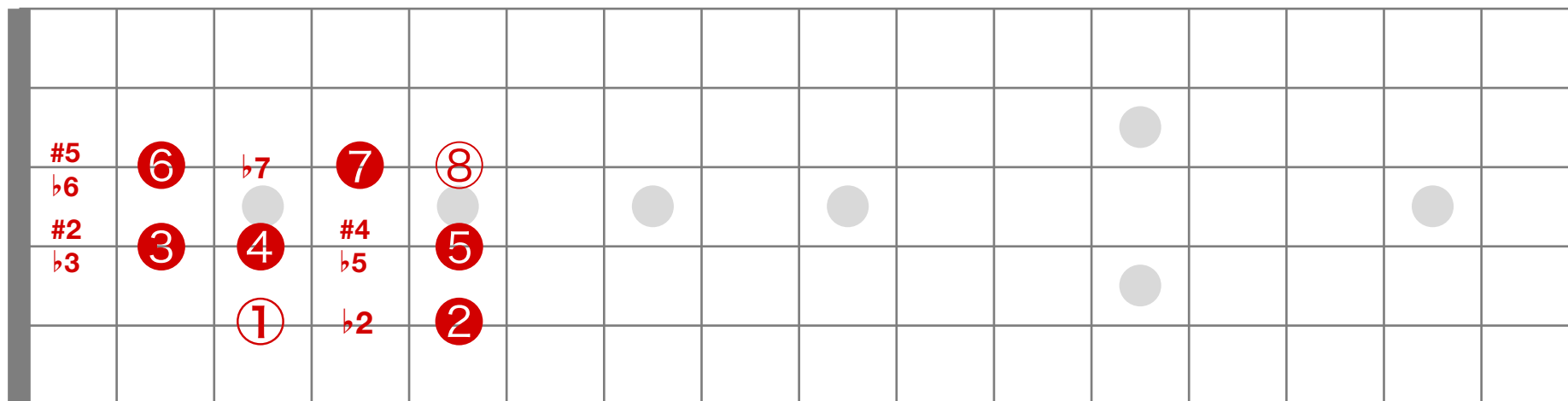
『①の音から3度の音は③』

『①の音から⑧度(1オクターブ)の音は⑧』

『④の音から3度の音は⑥』

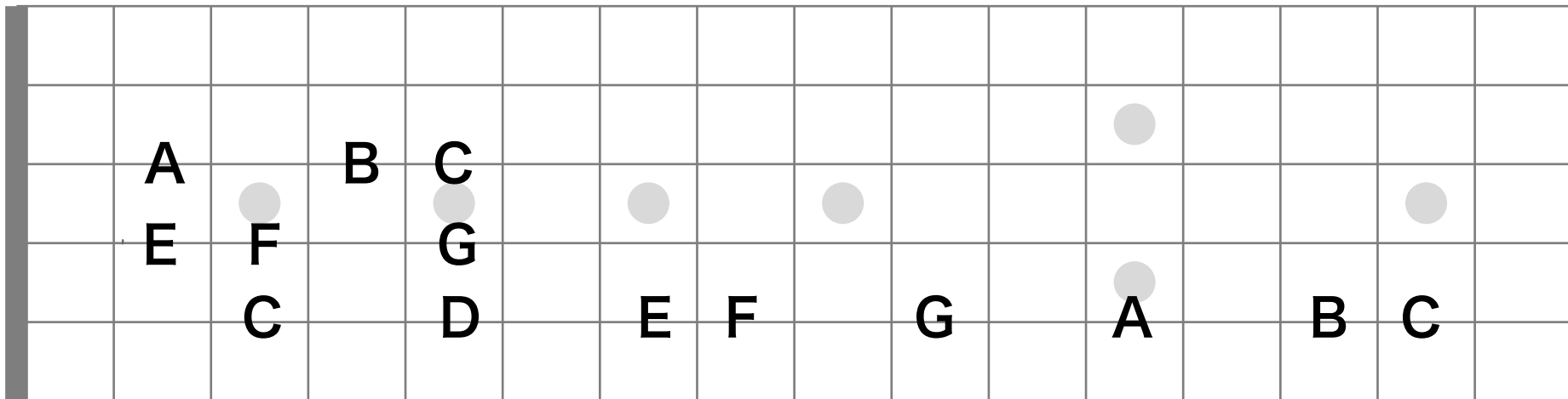
弦をまたぐ度数(距離)を見てみましょう！

スケールの話に繋がります！



改めて、

指板上のそれぞれの音と音の距離“度数”は何度でしょう？



- (1) CからEは？
- (2) EからGは？
- (3) CからGは？
- (4) FからCは？
- (5) CからFは？
- (6) EからAは？
- (7) CからCは？

- (1) 3度
- (2) ♭3度
- (3) 5度
- (4) 5度
- (5) 4度
- (6) 4度
- (7) 1度または8度

スケール

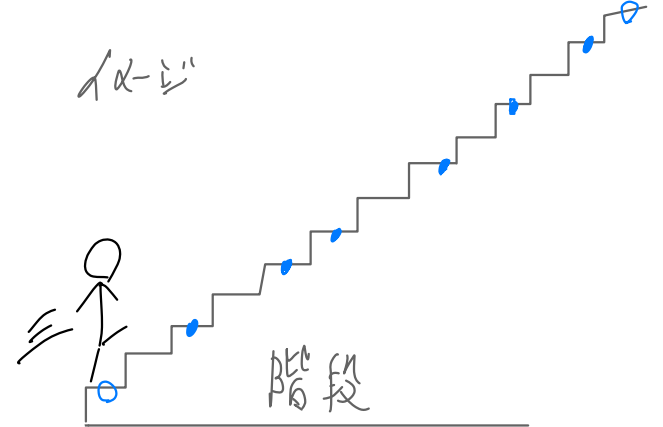
- ・スケールとは **音を規則的に並べた** もの
度数の並び方が決まっています

メジャースケール と マイナースケール
を解説します

メジャースケール

度数の並び方

全 → 全 → 半 → 全 → 全 → 全 → 半



	○		●		●	●		●		●		●	○	

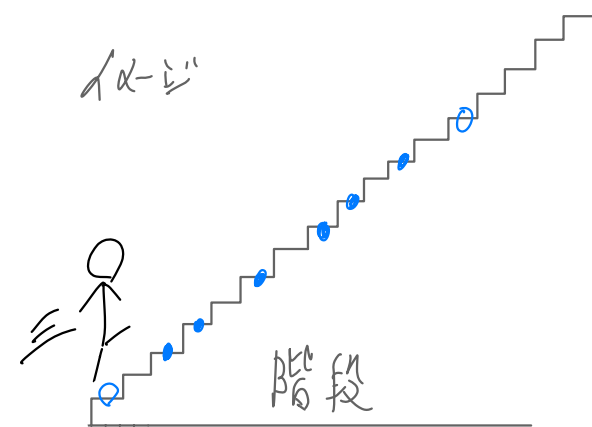
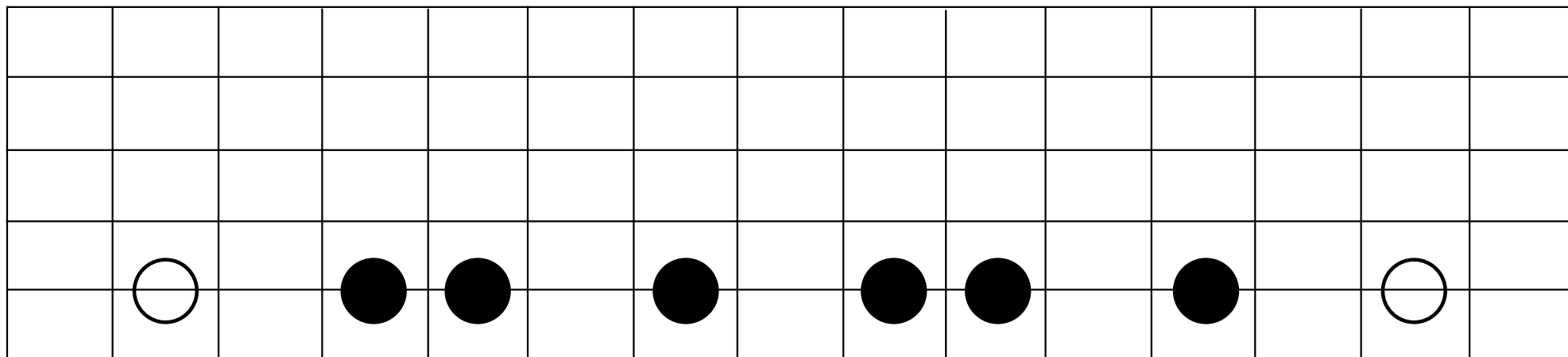
「メジャースケールは『全全半全全全半』」

呪いのように唱え続けましょう

マイナースケール

度数の並び方

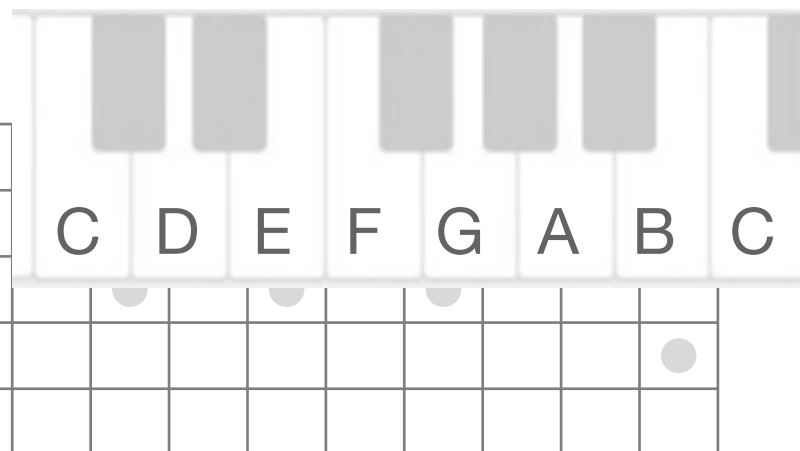
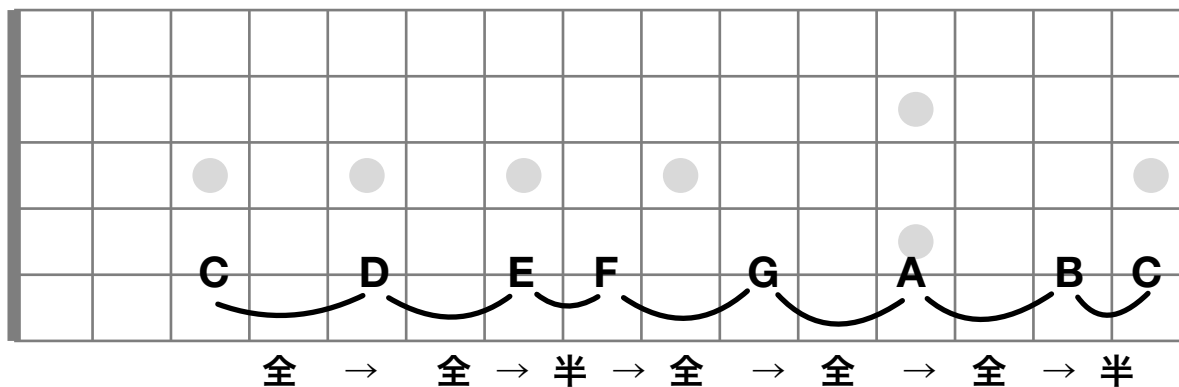
全 → 半 → 全 → 全 → 半 → 全 → 全



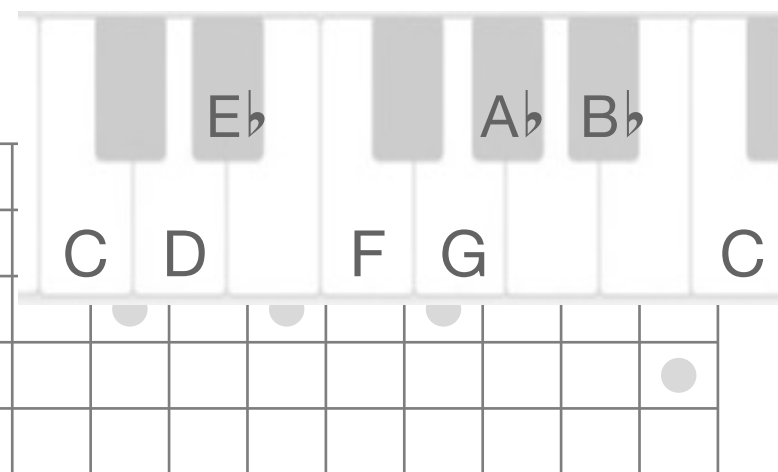
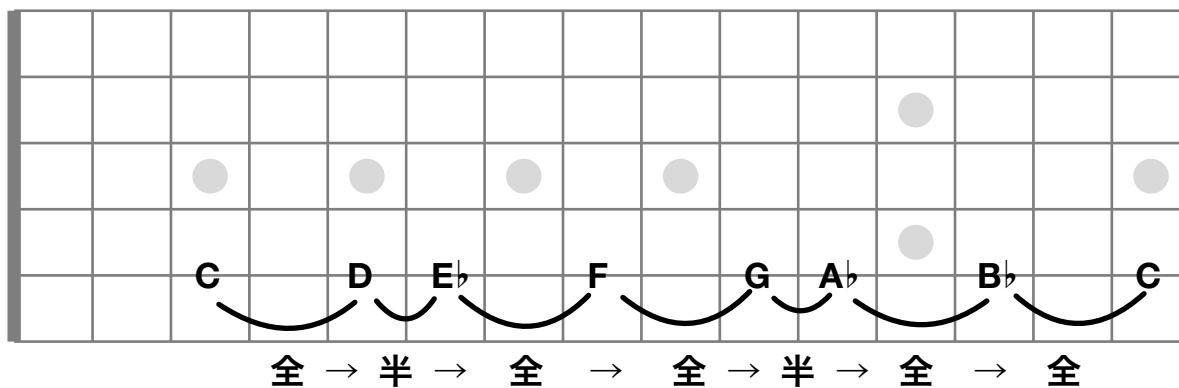
「マイナースケールは『全半全全半全全』」

呪いのように唱え続けましょう

Cメジャースケール



Cマイナースケール

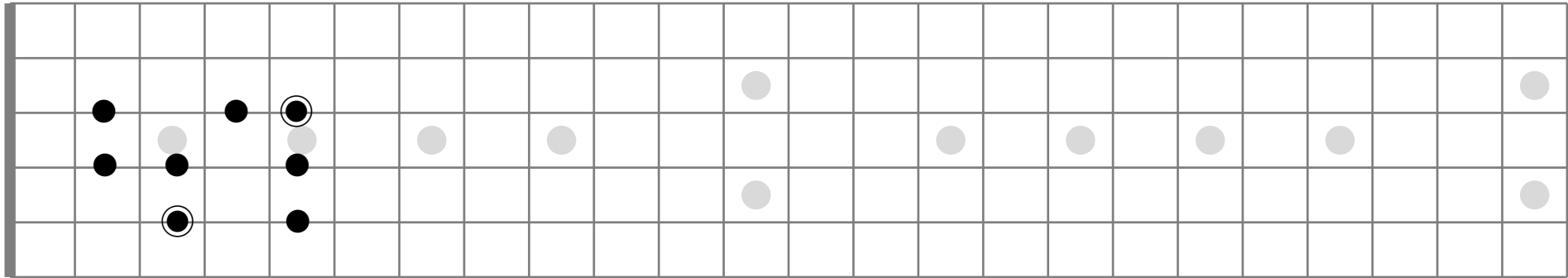


起点音とその規則がスケール名になります

Fからメジャースケールで並べれば「Fメジャースケール」など

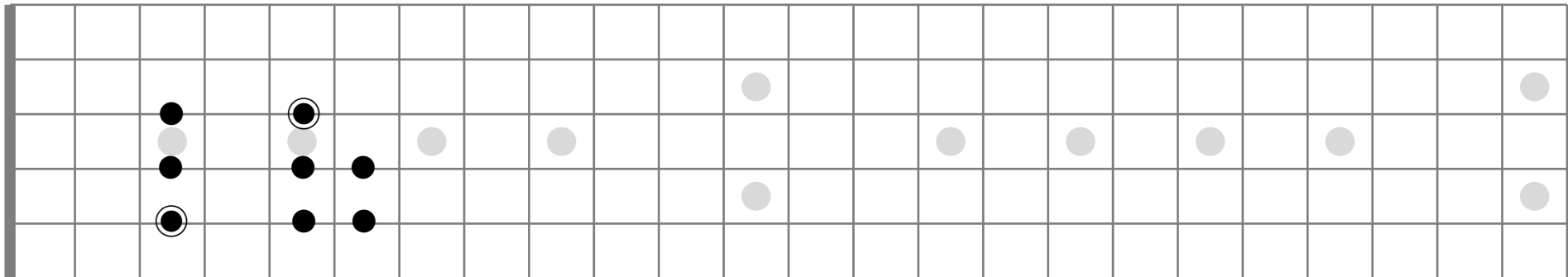
よく使う形を1つずつご紹介

メジャースケール



(Cメジャースケール)

マイナースケール



(Cマイナースケール)

ダイアトニックコード

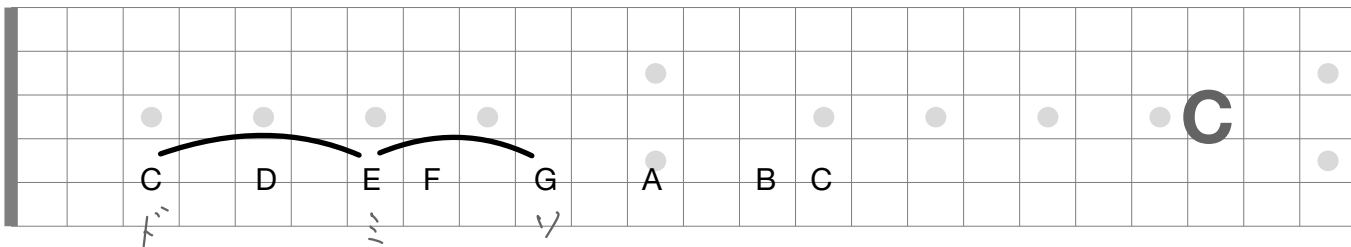
いよいよコード理論突入！

- ・ダイアトニックコードとは スケールの7つの音でつくる
7つのコード のこと

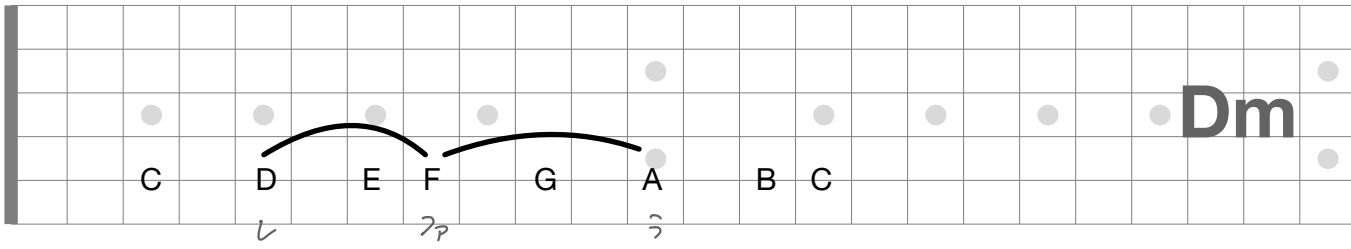
→スケールの7つの音をそれぞれ3度(♭3度)ずつ音を重ねていく

今回はCメジャースケールでダイアトニックコードをつくります

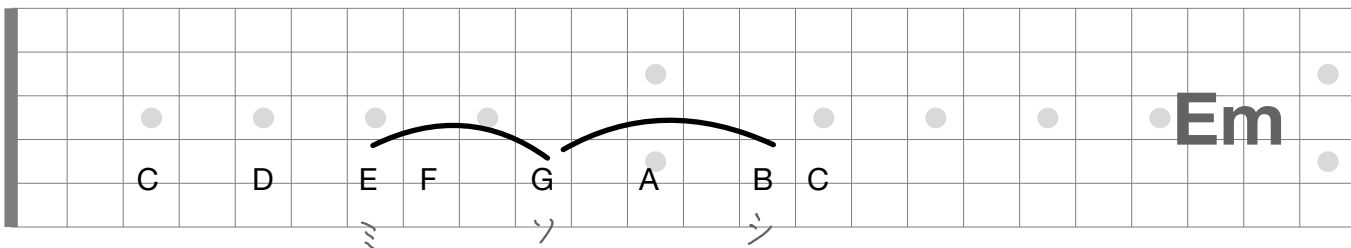
I
(1)



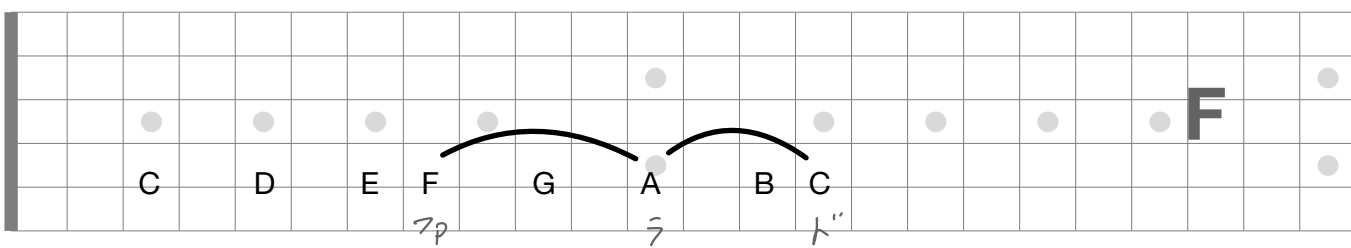
II
(2)



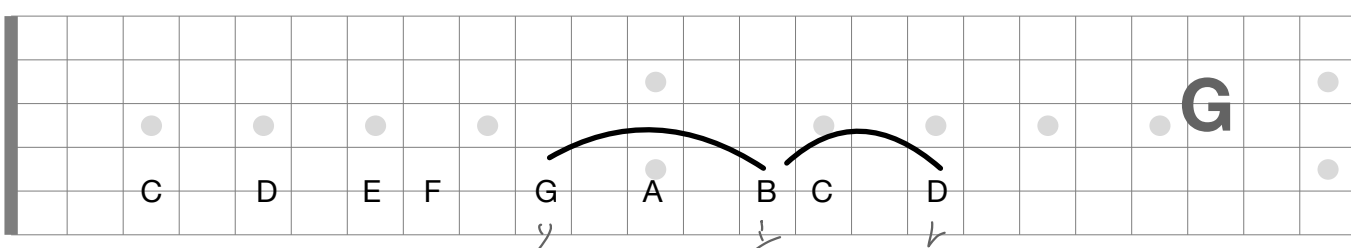
III
(3)



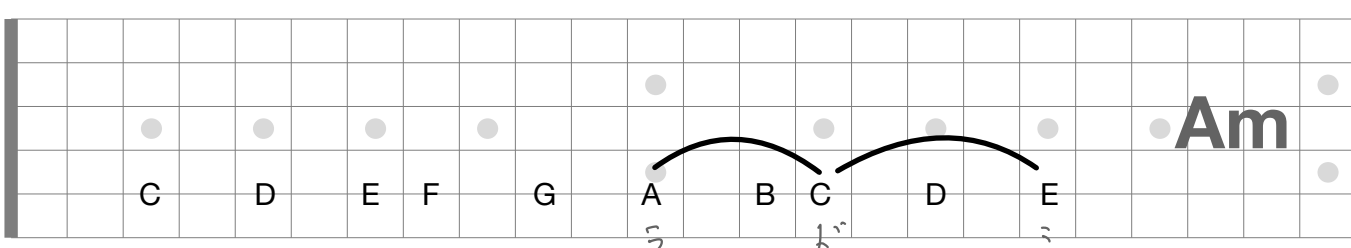
IV
(4)



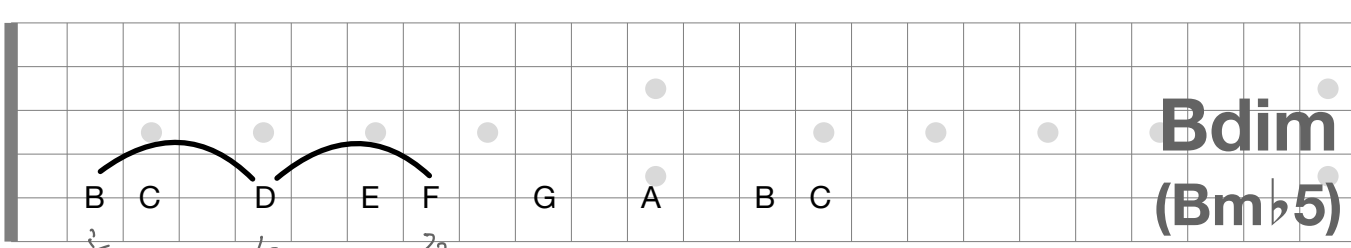
V
(5)



VI
(6)



VII
(7)



メジャーダイアトニックコード

I	IIm	IIIm	IV	V	VIIm	VIIIdim
1メジャー	2マイナー	3マイナー	4メジャー	5メジャー	6マイナー	7ディミニッシュ
(C	Dm	Em	F	G	Am	Bdim)

この I の音を曲の「キー(key)」と呼びます！

めっちゃ大事!! この場合キーは「C(メジャー)」です

この7つ(I~VII)のコードをメインに曲は構成されています

Cがキーの場合上記の7つのコードが多々登場します！

耳コピに非常に重要な知識です!!

キー A の場合	A	Bm	C#m	D	E	F#m	G#dim
キー D の場合	D	Em	F#m	G	A	Bm	C#dim

コードの成り立ち

メジャーコードやマイナーコードやディミニッシュコードなど、
コードは「規則」に基づいて名付けられています



- メジャーコード 3度+5度
- マイナーコード ♭ 3度+5度
- ディミニッシュコード ♭ 3度+ ♭ 5度

例)

G+3度+5度 = G

(G+B+D)

A+ ♭ 3度+5度 = Am

(A+C+E)

B+ ♭ 3度+ ♭ 5度=Bdim

(B+D+F)

※13ページ参照

ざっくり耳コピー手順のご紹介

曲のキーを見つける



曲の構成の確認
(Aメロ→サビなど)
&

コード進行をコピー
(ダイアトニックコードをもとに)



フレーズなどのコピー

おわりに

さあ、順調に挫折しておりますでしょうか。笑

焦る必要は一切ありません。僕自身何度も挫折しました。
でも、ふと急に「そういうことね！」と理解する瞬間がきます。
このお勉強は、「一よりギターライフを楽しむためのもの」
ですのでご自身のペースで無理なく学んでいきましょう！
それでは良いギターライフを！